高知農業高校ハイスクールプラン　子どもたちの夢実現事業

カーネーションに感謝の思いを込めて

事業の内容

農業総合科の※草花を専攻して学んでいる生徒が栽培したポットカーネーションを、母の日に合わせて全校生徒に配布している恒例行事で、2010 年から実施しています。カーネーションに感謝の思いを込め、ラッピングし、日頃お世話になっている方に渡してもらおうという企画です。

※本科では、２年次より「野菜」、「草花」、「果樹」専攻に分かれます。草花を専攻する生徒は、学年の３分の１にあたる約 10～13 名で、２・３年生合計で約 20～25 名です。ほかにサルビアやニチニチソウ、パンジーなどの花壇用草花や、ユリやストックなどの切り花を、年間を通じて施設栽培しています。

カーネーションの栽培ごよみ

令和３年 12 月上旬～　苗の鉢上げ３号ポット
（約 1,000 鉢分）
令和４年　１月上旬～　苗の鉢上げ4.5号化粧鉢
２回摘芯・消毒・追肥など
４月上旬～　摘花・消毒・追肥
４月下旬～５月上旬　出荷・販売
全校生徒配布

カーネーションの特性と品種

ナデシコ科の宿根草でキクについで生産量が多く、母の日に需要のピークを迎えます。本来は初夏に花が咲き、長日条件で開花が促進されます。光が強いほど生育がよく、日照条件のよい地域が栽培に適しています。

今回栽培した品種「感謝の気持ち」（サカタのタネ）は、鮮明な赤色の花をたくさんつけ、ボリュームのある草姿になります。赤は色あせの目立つ色ですが、本品種は退色しづらく、室内でも美しく見える色が特徴です。適切に管理を行えば、５月下旬ごろまで楽しめます。

当日の様子　R4 年度は５月６日（金）の放課後に実施しました

↑栽培にかかわった草花専攻３年生
↓セレモニー・配布の様子

「母の日」カーネーションを
高知農高 全生徒に配布

【香長】家族ら大切な人に感謝の気持ちを伝えてもらおうと、高知農業高校（南国市東崎）農業総合科の生徒が６日、丹精込めて育てたカーネーションを全校生徒485人に配った。

8日の「母の日」を前にした恒例行事で、2010年から実施。同科草花専攻の2、3年生約20人が昨年12月から、約千鉢分を同校のビニールハウスで育ててきた。

栽培担当の3年、久保田果歩さん(17)は母の日に見頃を迎えられるよう調整したといい「湿気に弱いので、水やりの加減が難しかった。小まめに花を摘んで、大事に育てました」。

生徒は下校時に鉢植えを受け取り、ラッピングして持ち帰った。

3年の小西海月さん(17)は「今年は花と一緒に、毎日お弁当を作ってくれること、家事をしてくれることなど、いろいろな感謝の思いを母親に伝えたい」と話していた。

（海路佳孝）

カーネーションを受け取る生徒
（南国市東崎の高知農業高）

R4 年５月７日 高知新聞掲載

保護者からは、「ありがとう。農業総合科の皆さんに感謝！」という声が寄せられています。この取り組みを通じ、他の学科の生徒にも花の持つ癒しの効果を感じてもらい、花に関心を持ち、また他人に対して、素直な感謝の気持ちが伝えられる「思いやりの心」「気配りの心」を養ってもらいたいとの思いがあります。